

令和8年3月17日

令和7年度 第3回岡山県健康の森学園支援学校 学校運営協議会【議事録】

令和8年2月9日(月) 書面開催

大雪のために、書面開催に変更した。以下の内容について、書面での報告を行い、各委員にアンケートにてご意見をいただいた。

I 書面報告の議事

(1) 令和7年度の実施状況と次年度の課題について

- ①令和7年度学校自己評価について(定久校長)
- ②令和7年度進路状況について(大倉高等部教頭)
- ③学校経営計画について(定久校長)
- ④事務局からの報告(山崎主幹教諭)
 - ・地域連携室会の取組
- ⑤第2回学校運営協議会「協議及び意見交換」を受けて、その後の取組
 - ・広大な自然を生かした教育活動の取組(榊原指導教諭)
 - ・訓練班作業(商品開発)の取組(大倉高等部教頭)
- ⑥各分掌の取組(各担当)
 - 学校保健、医療的ケア(實村小中教頭)
 - 研究、研修(實村小中教頭)
 - 生徒指導(いじめ、虐待)(大倉高等部教頭)
 - 学校安全(防災)(大倉高等部教頭)
 - 巡回指導(エキスパート派遣)(上野副校長)
 - PTA(PTA活動、組織見直し)(上野副校長)
 - 質疑応答

(2) 来年度の方針について

- ①次年度の方針について説明(定久校長)

(3) 協議及び意見交換

テーマ:「来年度の実施を充実させるために」
地域連携室 ボランティアの充実等

2 委員からの主なご意見等

○本年度の実施状況と次年度の課題について

- ・生活単元学習が系統的、計画的に行われ、工夫された指導をされていると思う。その成果が、収穫祭等の生徒の生き生きとした活動に表れていたと感じた。
- ・次年度へ向けての計画、準備等しっかりと引き継ぎをされ、秘密基地のドーム完成、高等部の味噌に代わる新製品を期待する。
- ・健康の森の大きな特徴である農福連携や広大な自然を生かした体験活動など色々なアイデアで児童生徒の未来のために教育活動を行っていることが伝わる。
- ・長年親しまれた森のみそは近年の異常気象の影響のため、次のことを考えられたらよい。地元企業の協力を

得ながら、新しい商品に取り組む行動力にも驚き期待している。

○本年度の自己評価について

- ・保護者も教職員も評価が高く、日頃の丁寧な教育活動が評価されていることがわかった。
- ・保護者の傾向、教職員の傾向共に高評価だと思う。広大な自然に囲まれた環境を生かした教育活動は特に高評価で健康の森学園ならではの教材に感謝したいと思う。
- ・学校の取り組みへ多くの理解が得られていることが伝わる。各部署の小さな積み重ねが大きな成果につながっていると感じる。不安を抱えておられる保護者に寄り添い、いつも保護者や児童生徒に笑顔で接しておられる先生方の努力が学校の魅力につながっているのかもしれない。

○来年度の方針について

- ・交流活動、ボランティアの拡充、ネイチャートレイル等の自然を生かした体験活動、教育活動の視点は、健康の森学園支援学校の特色でもあるので、来年度の取組も期待する。
- ・広大な自然環境を生かした多様な体験活動の継続に取り組んでいただきたい。
- ・今までの歴史を土台に新しいことにも取り組みながら、小中高等部の児童生徒そして、先生方も更に魅力的に成長されることを期待している。